



立石友男先生 2003年12月 石井 實氏 撮影

立石友男先生のご退職に際して

高 阪 宏 行

On the Retirement of Professor Tomoo Tateishi

Hiroyuki KOHSAKA

(Received October 31, 2003)

Professor Tomoo Tateishi was retired from Nihon University because of his seventieth year on June 4, 2003. He greatly contributed to the education in Department of Geography and supervised the College of Humanities and Sciences. Professor Tateishi also contributed to the development of historical geography in Japan as the president of Japanese Association of Historical Geography.

立石友男先生は、平成15年6月4日をもって満70歳をお迎えになられ、定年によりご退職になりました。先生が日本大学文理学部に赴任されたのは、昭和34年(1959年)4月でした。それから44年、先生はまさに地理学科の歴史とともに歩んでこられました。

立石友男先生は、地理学の中でも特に林業、地図、歴史地理の研究を進められ、日本地理学会、歴史地理学会、日本国際地図学会を中心として活躍されました。平成11年からは歴史地理学会会長として、日本の歴史地理学の発展に貢献されました。先生の教えを受けた多くの卒業生が学界・教育界・地図業界などで広く活躍されていることは、私どもの誇りとするところであります。

本号には、先生のご経歴と主要な研究業績リストを掲載させていただきました。ここに日本大学に対する先生のご貢献に感謝申し上げるとともに、広く学会における先生のご功績を称えることにいたします。

立石友男先生の略歴

1933(昭和8)年6月4日 長野県で誕生

学 歴

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| 1952(昭和27)年3月 | 長野県諏訪清陵高等学校卒業 |
| 1952(昭和27)年4月 | 日本大学文学部人文地理学科入学 |
| 1956(昭和31)年3月 | 日本大学文学部人文地理学科卒業(文学士) |
| 1957(昭和32)年4月 | 日本大学大学院文学研究科人文地理学専攻修士課程入学 |
| 1959(昭和34)年3月 | 日本大学大学院文学研究科人文地理学専攻修士課程修了(文学修士) |
| 1966(昭和41)年4月 | 日本大学大学院理工学研究科地理学専攻博士課程入学 |

1969(昭和44)年3月 日本大学大学院理工学研究
科地理学専攻博士課程単位
取得満期退学
1982(昭和57)年6月25日 理学博士(日本大学)

1998(平成10)年2月 財団法人日本地図センター
評議員
1998(平成10)年4月 日本地理学会評議員
1999(平成11)年4月 歴史地理学会会長(平成14
年3月まで)

職 歴

1959(昭和34)年4月 日本大学文理学部副手
1960(昭和35)年10月 日本大学文理学部助手
1970(昭和45)年3月 日本大学文理学部専任講師
1973(昭和48)年4月 日本大学文理学部助教授
1981(昭和56)年4月 日本大学文理学部教授
2003(平成15)年6月 日本大学定年規定により退
職

学会並びに社会における活動

1974(昭和49)年4月 歴史地理学会評議員
1974(昭和49)年4月 歴史地理学会常任委員, 運
営委員(11期中7期)
1977(昭和52)年1月 日本国際地図学会評議員,
常任委員
1987(昭和62)年1月 日本国際地図学会集會委員
長(2002年12月まで)
1990(平成2)年4月 歴史地理学会常任委員長
(1993年3月まで)
1991(平成3)年9月 日本学術会議第1部人文地
理学研究連絡委員会委員・
幹事「第15期」(平成6年9
月まで)
1993(平成5)年2月 日本学術会議第4部地図学
研究連絡委員会委員「第
15・16・17期」(平成12年9
月まで)
1993(平成5)年4月 日本大学地理学会会長(平
成7年3月まで)
1994(平成6)年10月 日本地理学会財政検討委員
会委員主査(平成7年3月
まで)
1996(平成8)年4月 歴史地理学会庶務委員長
1997(平成9)年4月 日本大学地理学会会長(平
成10年3月まで)
1997(平成9)年5月 社団法人日本地図調整業協
会監事

著書・学術論文・その他の研究業績一覧

(1) 主な著書(共著, 編著)

1974 地理学実習ノート(松村祝男, 島方洗一と
共著)(株)大明堂
1983 日本の農業地域(編著)(株)大明堂
1987 スカンディナ비아ー白夜・極夜の国ぐにー
(単著)(株)古今書院
1989 海岸砂丘の変貌(単著)(株)大明堂
1990 日本の農業地域, 増補版(編著)(株)大明
堂

(2) 主な論文・報告その他

1964 関東山地における林野利用の地域性 日本
地理学会会報6
1965 津軽半島の国有林と地域社会への影響 日
本大学文理学部自然科学研究所研究紀要1
1965 山村の諸類型 地図3-2
1965 紀伊半島における人工林化の動向 地理
10-9
1967 林野利用の発展過程 地理12-9
1968 矢作川流域における林地の利用 日本大学
自然科学研究所研究紀要4
1971 林地利用図に関する一試案 日本大学自然
科学研究所研究紀要6
1971 農家と林家 —この10年の働き— 地理16
-7
1972 関東平野における平地林の分布とその利用
地理誌叢13
1972 東北地方の林業 地理17-9
1973 北海道における林野所有の特質 地理誌叢
14
1973 津軽屏風山国有林の成立とその開放 日本
大学自然科学研究所研究紀要8
1974 日本海沿岸における海岸砂丘林の造成過程
日本大学自然科学研究所研究紀要9
1974 吉野林業地帯川上村の林野所有形態 地理

- 誌叢 15
- 1975 関東地方における林地とその開発 日本大学地理学科50周年記念論文集(沢田徹郎と共著)
- 1976 藩制時代における庄内砂丘の砂防植栽Ⅰ 日本大学自然科学研究所研究紀要11
- 1977 藩制時代における海岸砂丘防災林の造成事例 歴史地理学紀要18
- 1977 日本海北部海岸砂丘における砂防植栽 徳川林政史研究所研究紀要51
- 1977 藩制時代における庄内砂丘の砂防植栽Ⅱ 日本大学自然科学研究所研究紀要12
- 1978 ブラジルの米作 地理誌叢20
- 1979 北ヨーロッパのエコノミックマップについて 地図17-1
- 1979 藩制時代における庄内砂丘の砂防植栽Ⅲ 日本大学自然科学研究所研究紀要14
- 1979 林野利用の特質 地域創刊号
- 1980 庄内地方における地租改正と官林・国有林の形成 徳川林政史研究紀要54
- 1981 庄内川北砂丘における入会林野の成立とその変容 地理誌叢22
- 1981 庄内平野における海岸砂丘林の造成「自然と人間とのかかわり」所収(沢田清編)古今書院
- 1983 藩政時代における庄内砂丘の砂防植栽Ⅳ 日本大学自然科学研究所研究紀要18
- 1983 庄内砂丘における砂防植栽と人工砂丘の形成 地理誌叢24-2
- 1984 砂防施設の築設にともなう海岸砂丘の人工改変 地理誌叢25-2
- 1985 遠州灘沿岸砂丘の開発とその人工改変「細井淳志郎先生退官記念論文集」所収(杉山昌謙と共著)
- 1985 拓殖過程からみたオホーツク沿岸の海岸砂丘 日本大学自然科学研究所研究紀要20
- 1985 国有林払い下げと林業 「日本地誌ゼミナール北海道地方」所収 大明堂
- 1985 明治年間における庄内砂丘の官林払い下げと耕地化 地理誌叢27-1・2
- 1988 渡島半島西岸における海岸砂丘の荒廃とその固定作業 「災害の地理学」所収(菊地万雄編)古今書院
- 1990 海岸砂丘林の造成とその耕地化「地理学と社会」所収(沢田清編)東京書籍
- 1990 林野利用からみた変革期 歴史地理学紀要32 古今書院
- 1993 転換期に立つ庄内砂丘の土地利用「転換期に立つ地域の科学」所収(山田彦彦編)
- 1993 北アメリカ大陸の樹木と森林地域 地理誌叢35-1
- 1996 スペインカタルーニャ南部海岸地域の灌漑農業 日本大学自然科学研究所研究紀要31
- 1998 明治初年の林業政策と土地官民有区分 地図情報18-3 財団法人地図情報センター
- 2000 迫られる海岸砂丘の保全 日本砂丘学会編「世紀を拓く砂丘研究」所収
- 2001 北海道湧別原野における殖民地区画と屯田兵村の土地割 地図39-3
- 2002 オホーツク海沿岸の殖民地区画 歴史地理学44-1